

キャベツのコナガ防除を徹底しましょう

～成虫の飛来が早く、量が多いため幼虫の増加が予想されます～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

キャベツ予察ほ（秋田市）のフェロモントラップにおける4月4半旬～5月2半旬の誘殺数は146.3頭（平成64.0頭）が多かった（図-1）。また、県内6地点の予察灯における初誘殺日は5地点でやや早い～早く、5月1半旬の誘殺数の合計は64頭（平成12.2頭）が多かった（表-1、2）。

5月上旬に実施した巡回調査（山本地域）における株当たり幼虫数は0.02頭（平成0.01頭）でやや多かった。

以上のことから、今後幼虫の発生が多くなることが予想されるため、ほ場をよく観察し、薬剤防除を徹底する。また、他のアブラナ科野菜についてもコナガの発生が多くなることが予想されるため、十分に注意する。

2. 防除対策

- 1) 幼虫の発生初期（若齢期）で密度が低い間は、昆虫成長制御剤（RACコード：15）又はBT剤（同：11）を散布する（表-3）。
- 2) 生育期から結球期にかけて発生が多くなってきたら、1)以外の薬剤をローテーション散布する（表-3）。なお、フェニックス顆粒水和剤（RACコード：28）、プレバソンフロアブル5（同：28）、グレーシア乳剤（同：30）、ブロフレアSC（同：30）は2週間程度の残効があるため、防除回数を減らすことができる。
- 3) コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一のRACコードの薬剤は連用しない。
- 4) 薬剤は必ず展着剤を加用し、葉裏にも十分付着するように散布する。
- 5) 散布液量は、生育期～結球期では200L/10aを目安とする。

3. 資料

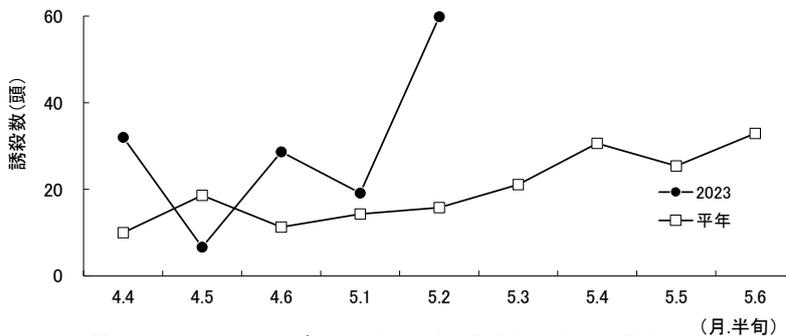


図-1 フェロモントラップにおけるコナガの誘殺消長(秋田市予察ほ)

表-1 予察灯における初誘殺日

	北秋田	五城目	秋田	由利本荘	大仙	湯沢
本年	5/1	—	5/2	5/6	5/2	5/1
平成	5/4	5/14	5/11	5/11	5/7	5/6
概評	やや早	—	早	やや早	やや早	やや早

表-2 予察灯における5月1半旬の誘殺数(頭)

	北秋田	五城目	秋田	由利本荘	大仙	湯沢	合計
本年	26	0	16	0	13	9	64
平成	2.8	1.1	3.4	2.5	1.6	0.8	12.2
概評	多	並	多	やや少	多	多	多

表-3 キャベツのコナガ防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
11A	エスマルクDF*1	1,000~2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	ア
	ゼンターリ顆粒水和剤*2	2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	ア
	チューンアップ顆粒水和剤*1	2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	ア
	デルフィン顆粒水和剤*1	1,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	ア
	トアロー水和剤CT*3	1,000~2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	ア
	フローバックDF*1	1,000~2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	ア
	バシレックス水和剤*1	1,000~2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	ア
15	カスケード乳剤	2,000~4,000倍	収穫7日前まで	2	2
	アタブロン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	4	4
	ノーモルト乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
	マッチ乳剤	3,000倍	収穫7日前まで	3	3
2B	プリンスフロアブル	2,000倍	収穫14日前まで	2	3*7
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前まで	3	4*4
	ディアナSC	5,000倍	収穫前日まで	2	3*5
6	アフーム乳剤	1,000~2,000倍	収穫前日まで	3	3
13	コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	2	2
14	エビセクト水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3	3
	パダンSG水溶剤	1,500倍	収穫14日前まで	4	4
22A	トルネードエースDF	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで	3	4*6
	ブレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3	4*8
30	グレーシア乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
	プロフレアSC	4,000倍	収穫前日まで	3	3

*1:作物名「野菜類」での登録

*2:作物名「野菜類(はくさいを除く)」での登録

*3:作物名「野菜類(パセリ、えごま(葉)を除く)」での登録

*4:定植前は1回以内、本圃では3回以内

*5:定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は2回以内

*6:灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内

*7:定植前の処理は1回以内、定植後の散布は2回以内

*8:定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内

※同一符号は同一成分が含まれていることを示す。()内は各成分の総使用回数を示す。

ア:BT(-)

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326

掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>